

おもしろサイエンス メニュー表

おすすめの プログラム

生活が便利になり、さまざまな機械に囲まれて生活をしていると、「不思議だな」と感じる心がどんどんなくなっていきます。ですが、子どもたちはまだまだ十分に「不思議さを感じる心」を持っています。「おもしろサイエンス」では普通の理科とはちがひ、シャボン玉を作ったり、風船をふくらまししたりと、「たいしたこと」はしませんし、テストもしません。ましてや「なぜそうなるのか」は誰も教えません。でも「答」は子どもたちが自分で考えればいいのです。不思議だね、おもしろいねという興味の心の芽を育てていきたいと思ひます。
…おもしろサイエンスを考案した教育評論家の阿部進先生(通称カバゴン先生)の言葉



●『ミニ熱気球をつくろう』 ★1番人気のプログラム！
ゴミ袋や針金など、身近にある材料を用いてミニ熱気球を作って飛ばします。
自分で作った気球がフワリと浮かび上がる瞬間はとても感動的で、何回飛ばしても楽しめます。
親子で行うプログラムとしても人気です。
※屋内用のプログラムです。火を扱います。



●『シャボン玉であそぼう』
自分たちでシャボン液をつくることから始まり、ストロー・ホースなど色々なもので吹いてみたり、針金などでオリジナルのフレームを製作し、大きなシャボン玉をつくります。もっともっと大きなシャボン玉をつくりたい！と子どもたちは自ら工夫し始めます。
※一部屋外で実施ます。

●『ドライアイスのふしぎ』
ドライアイスをお湯に入れるとどうなる？ドライアイスに10円玉を乗けるとどうなる？風船にドライアイスの塊を入れて口をしぼるとどうなる？
…など色々としながらドライアイスの特徴に触れます。
シャボン玉を浮かせる実験やシャボン膜を膨らませる実験なども行います。



●『塩のふしぎ』
冷凍庫がなくても、氷と塩でアイスが作れるって本当？塩味のアイスではありませんよ。
また、食塩水はただの水よりも重いことを利用して、キレイな色水の層をつくりだしてみよう。
※アイス(シャーベット)試食あり



その他プログラム	内容	備考
空気砲であそぼう	ダンボールでに開ける穴の形や大きさを考えたり、遠くのろうそくの炎を消すためにはどのように工夫すればよいかを考えながら実験ます。	ろうそくの火(ライター)を使用
静電気のふしぎ	静電気のでくつついたり離れたりする現象を利用して、さまざまな実験を行います。蛇口から出る水も曲げることができる！？	空気が乾燥する秋～冬が適してます
音のふしぎ	音による振動を利用した実験や工作を行います。声でゴマが躍る！？その他、笛やギターなどの楽器作りにも挑戦！	作品の持ち帰りあり
科学マジック	水に入れると描いてある絵が消えるカードづくりや透視マジックなど、科学のしくみを利用した現象をマジックとして体験ます。	作品の持ち帰りあり
空気のふしぎ	真空ポンプを使い気圧の変化によって起こる現象を観察したり、空き缶を一瞬でペチャコにつぶす実験などを通じ、普段は感じていない「気圧」を体感ます。	火(カセットコンロ)を使用
光のふしぎ	鏡合わせで「分身」して見えるしくみを利用して「万華鏡」をつくります。3枚の鏡を組み合わせて覗いて見るだけで、キラキラと輝く不思議な世界が広がってます。	作品の持ち帰りあり
水中エレベーター	ペットボトルの水の中に入れて醤油のたれびんが、外から押ししたり離したりするだけで上下し、まるでエレベーターのように動く工作です。	作品の持ち帰りあり
バランス実験	バランスのとれたやじろべえってどんな形？やじろべえやおきあがりこぼし作りを通じて、バランスについて実験ます。	作品の持ち帰りあり
入浴剤のふしぎ	入浴剤(バブ)の発泡作用を利用した実験を行い、実際に入浴剤づくりにも挑戦ます。	作品の持ち帰りあり

※上記以外にも、提供できるプログラムがございます。詳細についてはお問い合わせください。(担当：内山)